

画集

つれづれに  
その2

伊藤光男

## ごあいさつ

1997年に画集“つれづれに”を出して以来、はや7年が経過しました。この間、長年にわたりたづさわってきた研究、教育の職を2001年に退き、その後、居を東京に移し趣味としている下手な絵を中心とした気ままな生活を送っています。

絵を描くことに興味をもったのはすでに50才を過ぎてからです。それまで、小学校の図画の時間以外、自分で絵を描くということは全くありませんでした。1980年の秋、西オーストラリアのパースを訪ねたとき、キングスパークというところに変わった花や植物がたくさんあり写真をとりまくっていましたがフィルムがなくなりました。そのとき、たまたま持っていたクレヨンでカンガルーポーという鮮やかな深紅とグリーンの植物を描いてみました。初めてにしてはま一ま一の出来で気をよくしたのですが、それよりも描くために短い時間ですが対象物をじっと眺めたことに新鮮な感動を覚えました。考えてみると、われわれの日常生活でものを見つめるということはありません。まして写真では一瞬です。描いた絵は人様に見せられるものではありませんが、絵をみるとその時の感動が蘇ってくるのです。これがやみつきの始まりです。

それ以来、クレヨンが水彩になり油絵になりいろいろと変遷をへて今日に至っています。在職中は学会等で外国にでかけることが多く、その折、描く道具と折りたたみ椅子を持参していました。昔は気取って重い油絵の道具をかついで外国旅行をしたことありますが、いまは体力がもたなくて、もっぱら水彩スケッチにしています。F3のスケッチブック、プラスチックのパレット、サインペン、筆とペットボトルに入れた水さえあれば用がたり、これらは折りたたみ椅子とともに普通の手提げカバンに収まるので、仕事にでるふりをして絵をかきに行っても疑われなくてすみます。

スケッチで一番重要なことは、これはと思う対象に出くわしたときにはためらわずそこに座りこむことです。それが田舎とか人通りの少ないところであれば全然問題ありません。しかし人通りの多い街中で座り込むには相当な勇氣が必要です。恥ずかしいから人目のつかない場所を探すのですが、そこからの風景はさきの印象とは全く違う場合が多いのです。それは、いいなーと思った印象は雑踏をふくめてその場の環境すべてで構成されており、構成要素の一部でも欠けておれば駄目になるからです。そうは分かっていても、銀座4丁目の人込みのなかではためらわれます。しかし、不思議と、たとえばパリーの街中ではあまり抵抗を感じないです。それは多分旅の恥じはかきすてということと、この機会を逃せば再びチャンスはないかもしれないということでしょう。もう一つは恥じや外聞を気

にするには歳をとりすぎたということかもしれません。とにかく、雑踏の中でも人にあまり迷惑をかけることなく人ひとりが座り込むスペースはなんとか確保できるものです。乞食になったと思えばなんでもありません。座り込んでしまえばあとはこっちのものです。対象によって異なりますが、スケッチをしあげるには早くて30分、こみいっていいる場合には一時間ぐらいかかります。この間、通り過ぎる多くの人の視線にさらされることになります。なかには立ち止まって覗き込むもの、何を描いているか質問するもの、アドバイスをしてくれるもの、自分の身内に絵をかくものがいてそれがどうしたこうしたと長々話しかけて来るもの、くだらないと言い放ってゆくもの、といろいろあります。気がつくと、この連中の多くはアメリカ人であることです。一般に、パリジャン、パリジェンヌは見て見ぬふりをしてくれます。このあたりにも国民性がうかがわれて興味深いものがあります。しかし子供は例外で、なかには始めから終わりまでつきっきりのがいて、わたしの片言のフランス語の相手になります。C'est joliなんていわれると嬉しくなって、ねだられれば絵をやってしまうこともあります。あとで後悔します。いづれにしても、街中のスケッチにはいろいろな人との出会いがあり楽しいもので、その街にじかに触れたという実感があり、これは通り一辺の観光旅行ではえられないものです。一方、人の少ない田舎や田園のスケッチでは、ゆったりした自然のなかに身をおく幸せをつくづく感じ、命の洗濯をしたような気分に浸ることができます。いづれにしても、対象がなんであれ、スケッチしているときの気持ちの高ぶり、高揚感は何にもかえがたいものがあります。この高揚感を味わうためにスケッチをしていると言っても過言ではありません。

この度は、1998年以来のスケッチのなかから、海外でのスケッチにしぶり、“つれづれに その2”、としてまとめました。ここに収録したスケッチの原画は、数回の個展でその大部分が散逸し、現在わたしの手元にはありません。それだけにこれらのスケッチをいとおしく思う気持ちが強く、この画集をだす動機になっています。全くまとまりのない、ひとりよがりな未熟な絵ばかりですが、ご笑覧いただければ幸いです。

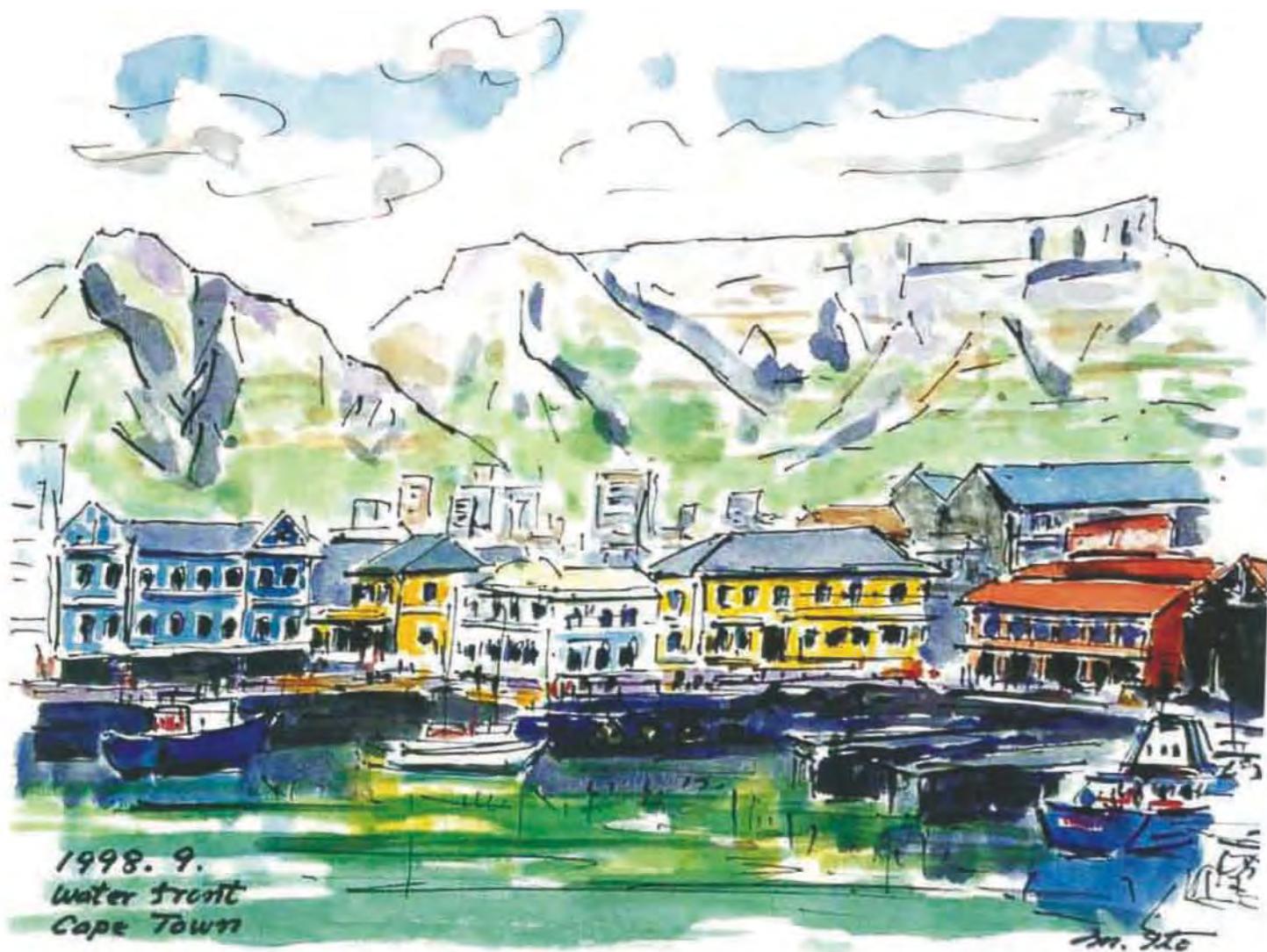
最後に、旅先でのスケッチに辛抱強くつきあってくれ、ときには励ましてくれた妻 民子 に感謝します。

平成16年（2004年）5月

伊藤 光男

# 目 次

南アフリカ (1998)	
ケープタウン ウォーターフロント	1
ケープタウン大学	2
喜望峰	3
ニュージーランド (1999)	
クライストチャーチ エイヴォン川	4
オークランド ローズパークの大木	5
南島中部の朝明け	6
フランス (2000)	
アルル 円形劇場	7
アヴィニオン	8
リオン レストラン街	9
サン マロ	10
オンフルール	11
モン サン ミッシェル	12
ルーアン	13
パリー オペラ通り	14
ハンガリー (2002)	
ブダペスト 王宮の丘より	15
ブダペスト マーチャシュ教会	16
ブダペスト くさり橋	17
オーストリア (2002)	
ウィーン ケルントナー通り	18
ウィーン マリアヒルファー通り	19
カナダ (2002)	
ヴィクトリア	20
カナディアンロッキー カルガリー側入り口	21
ケベック ダルム広場前のレストラン	22
ケベック プチシャンプラン	23
ナイアガラ カナダ滝	24
イギリス (2002)	
エジンバラ城	25
グレンコー	26
グラスミア	27
グラスミア ワドワースの家	28
チェスター	29
ストラドフォード	30
ビブリー	31
オックスフォード	32
イタリア (2003)	
ローマ 共和国広場	33
フィレンツェの夕暮れ	34
シェナー	35
ヴェネツィア サルーテ教会	36
ヴェネツィア ゴンドラ舟溜り	37
ヴェネツィア 運河	38
ベローナ	39
トスカーナの風景	40
スペイン (2003)	
セゴビア 水道橋	41
セゴビアの風景	42
ラ マンチャ 風車小屋	43
ラ マンチャの風景	44
コルドバ	45
セビーリャ スペイン広場	46
ロンダ	47
シェラ ネバーダ	48
バレンシア サラゴサ広場	49
バレンシア メルカド広場	50
バルセロナ ファミリア教会	51

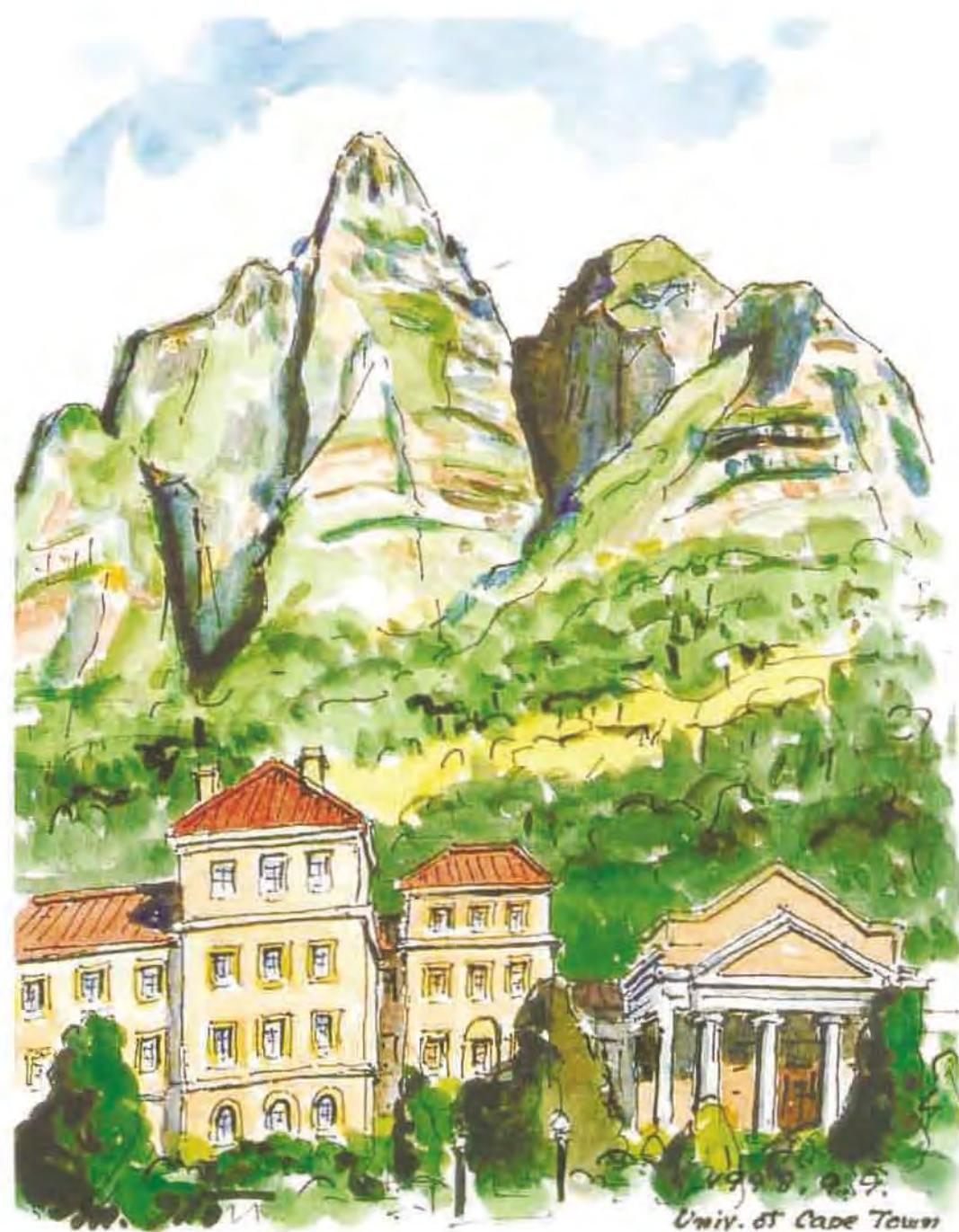


1998. 9.  
Water front  
Cape Town

1998.9

ケープタウン ウォーターフロント

サインペン、水彩、F.3



1998.9

ケープタウン大学

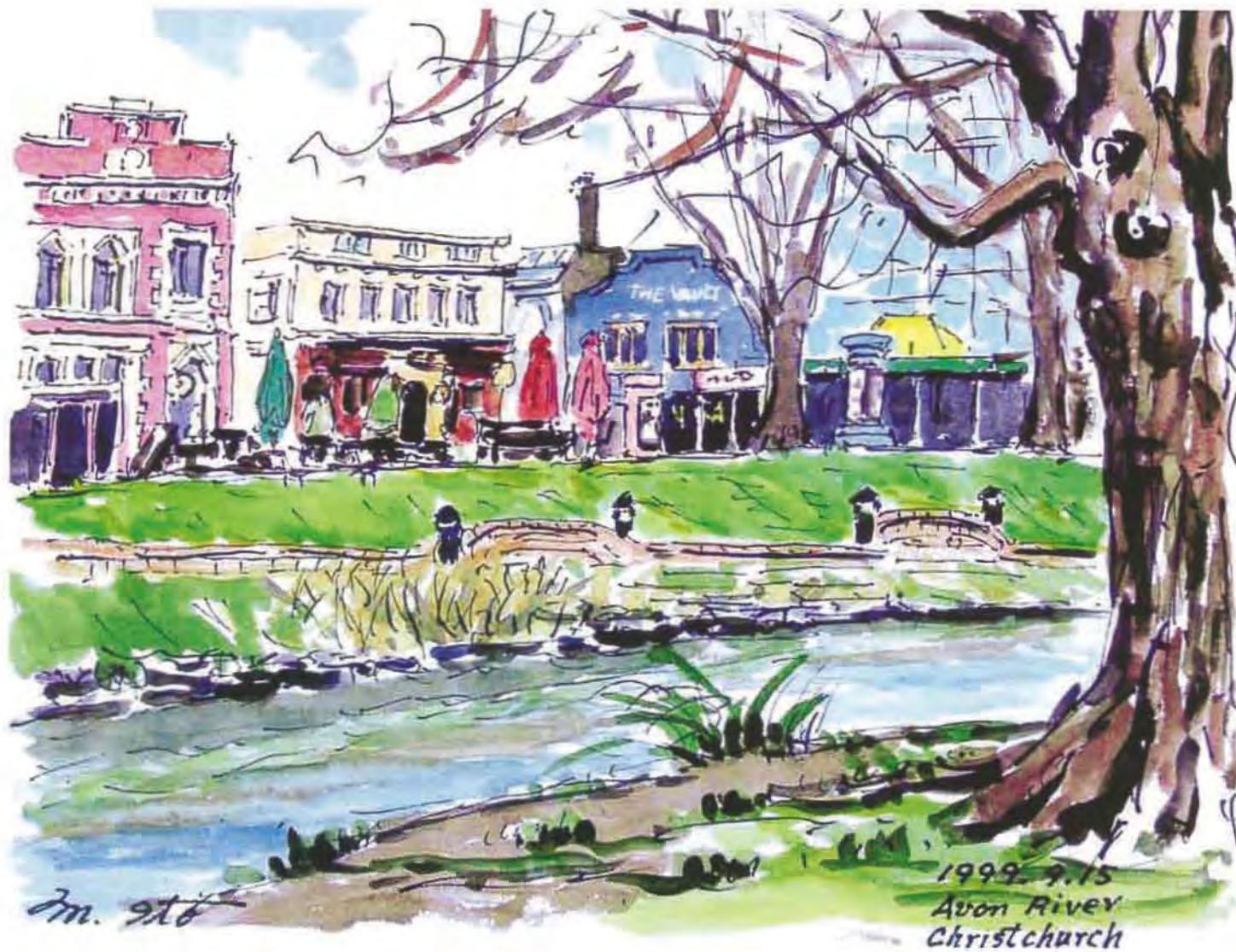
サインペン、水彩、F.3



1998.9

喜望峰

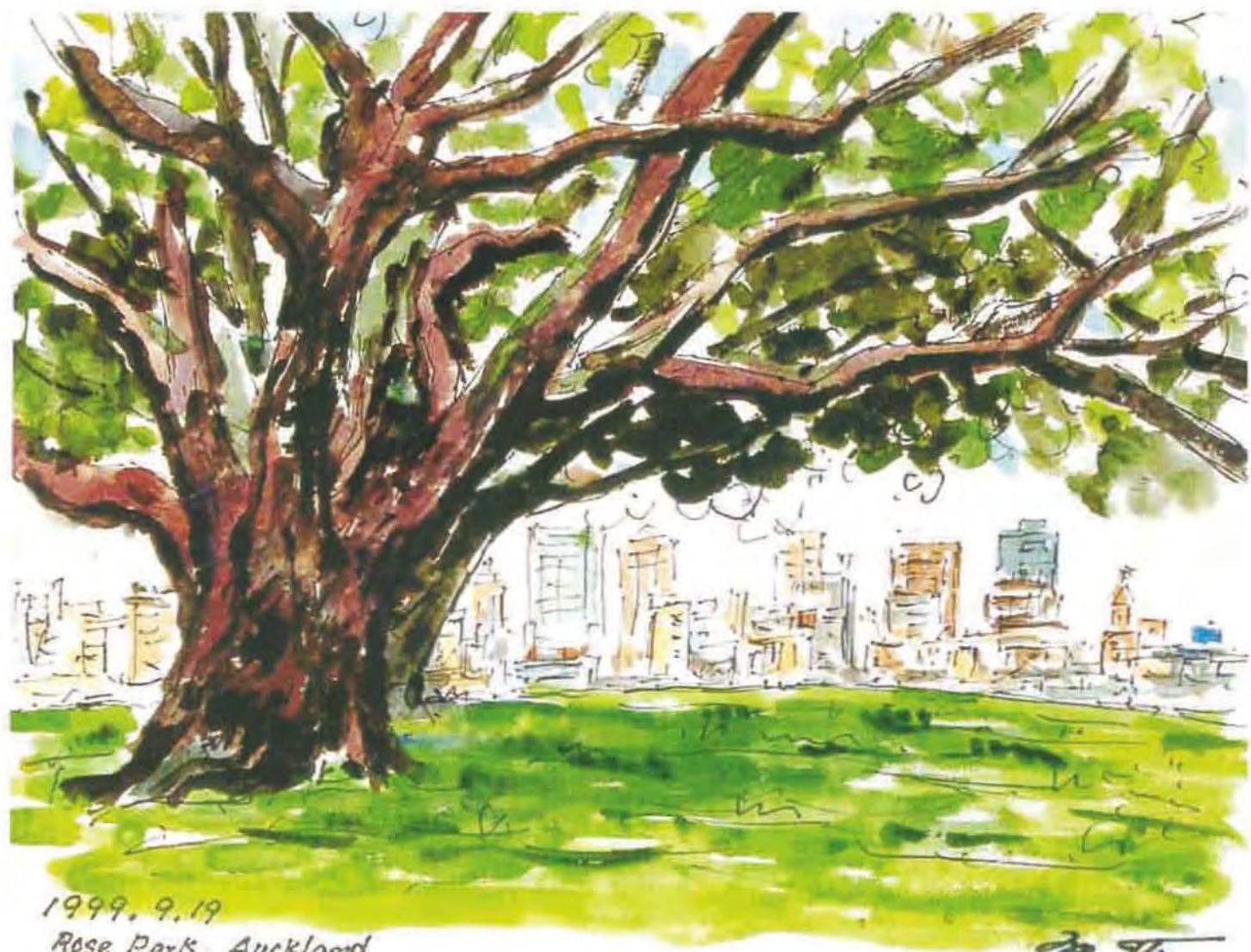
サインペン、水彩、F.3



1999.9

クライストチャーチ エイヴォン川

サインペン、水彩、F.3



1999. 9. 19

Rose Park, Auckland

M. Shio

1999.9

オークランド ローズパークの大木

サインペン、水彩、F.3



1999.9.

New Zealand の朝明け

M. Sto

1999.9

南島中部の朝明け

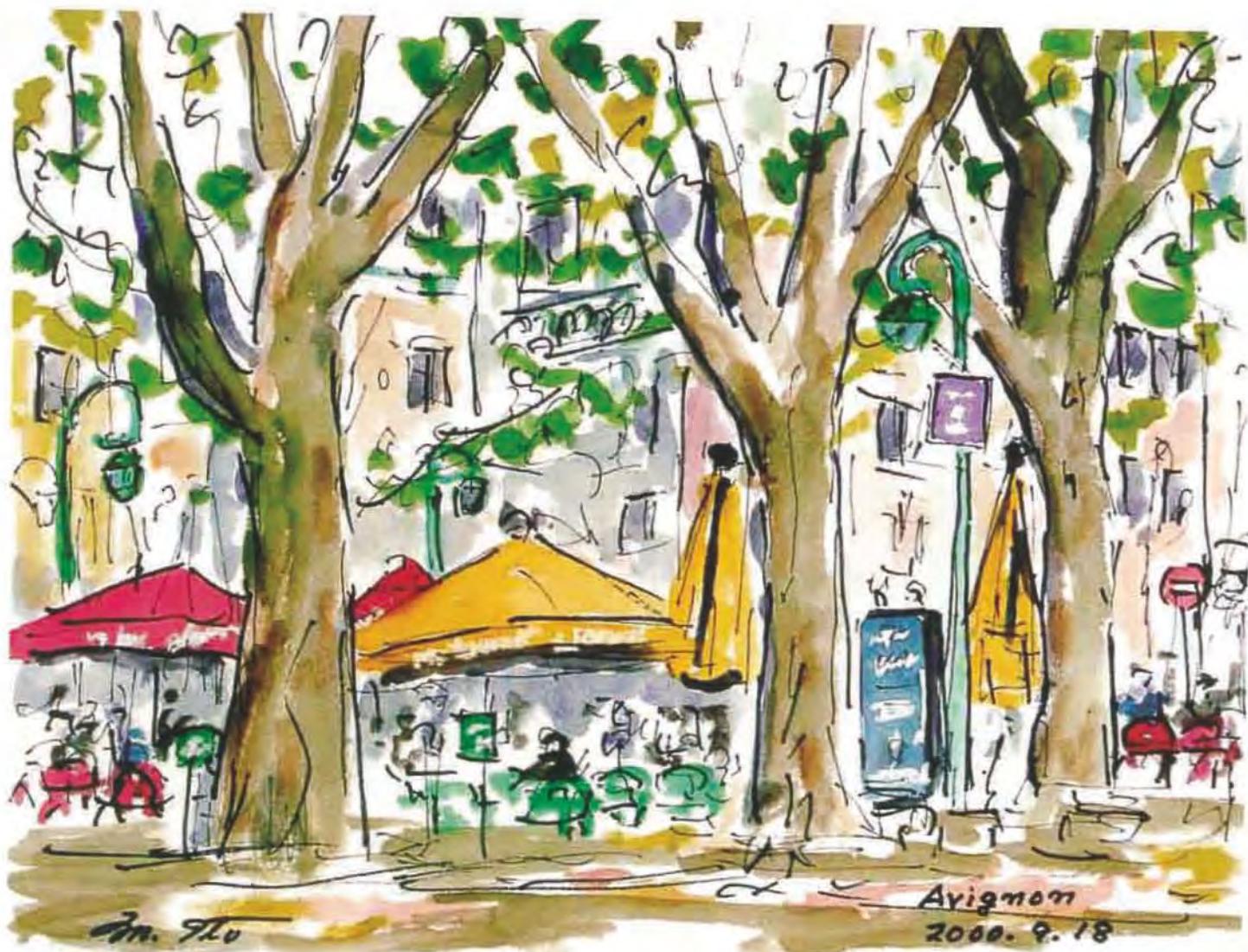
サインペン、水彩、F.3



2000.9

アルル 円形劇場

サインペン、水彩、F.3



2000.9

アヴィニオン

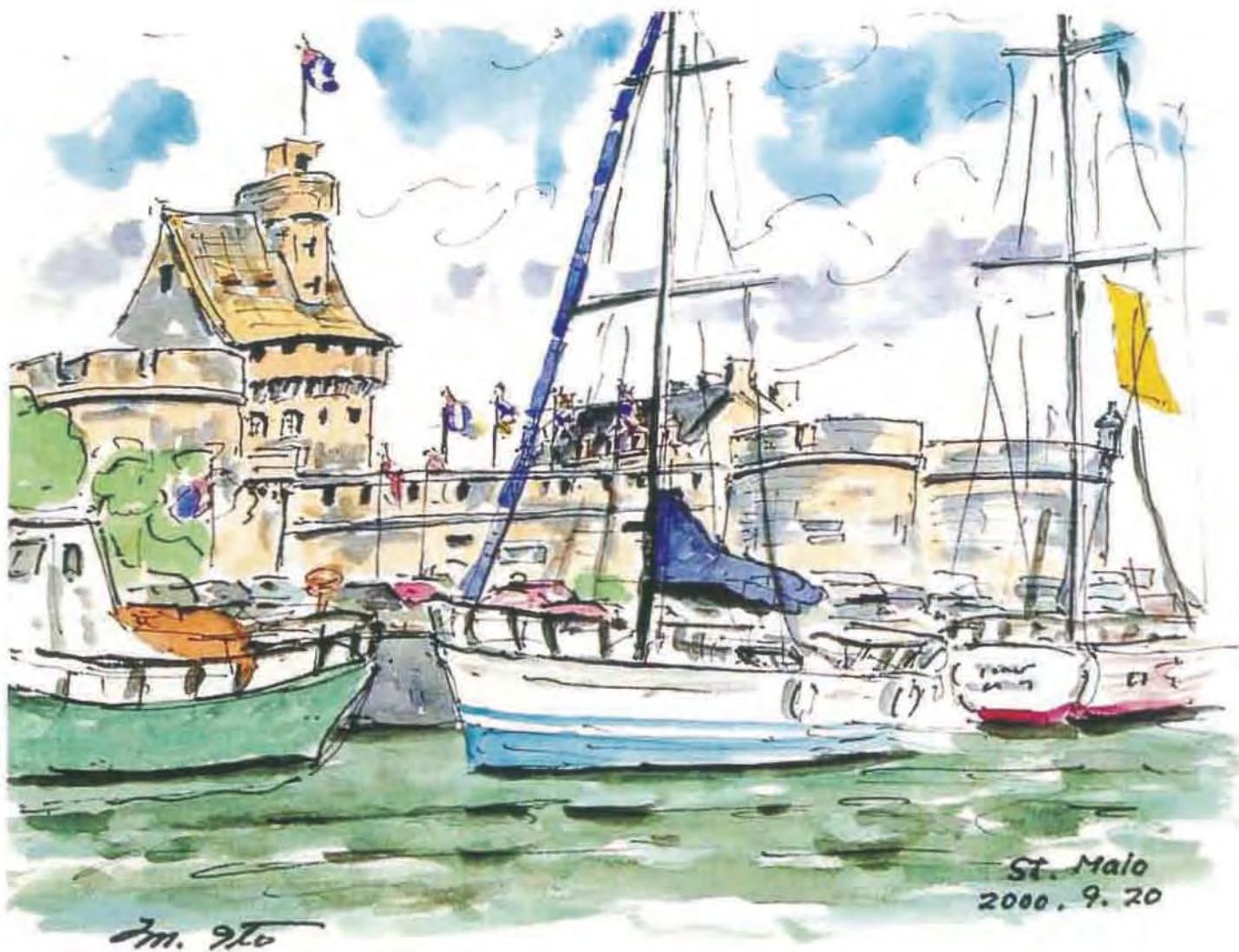
サインペン、水彩、F.3



2000.9

リオン レストラン街

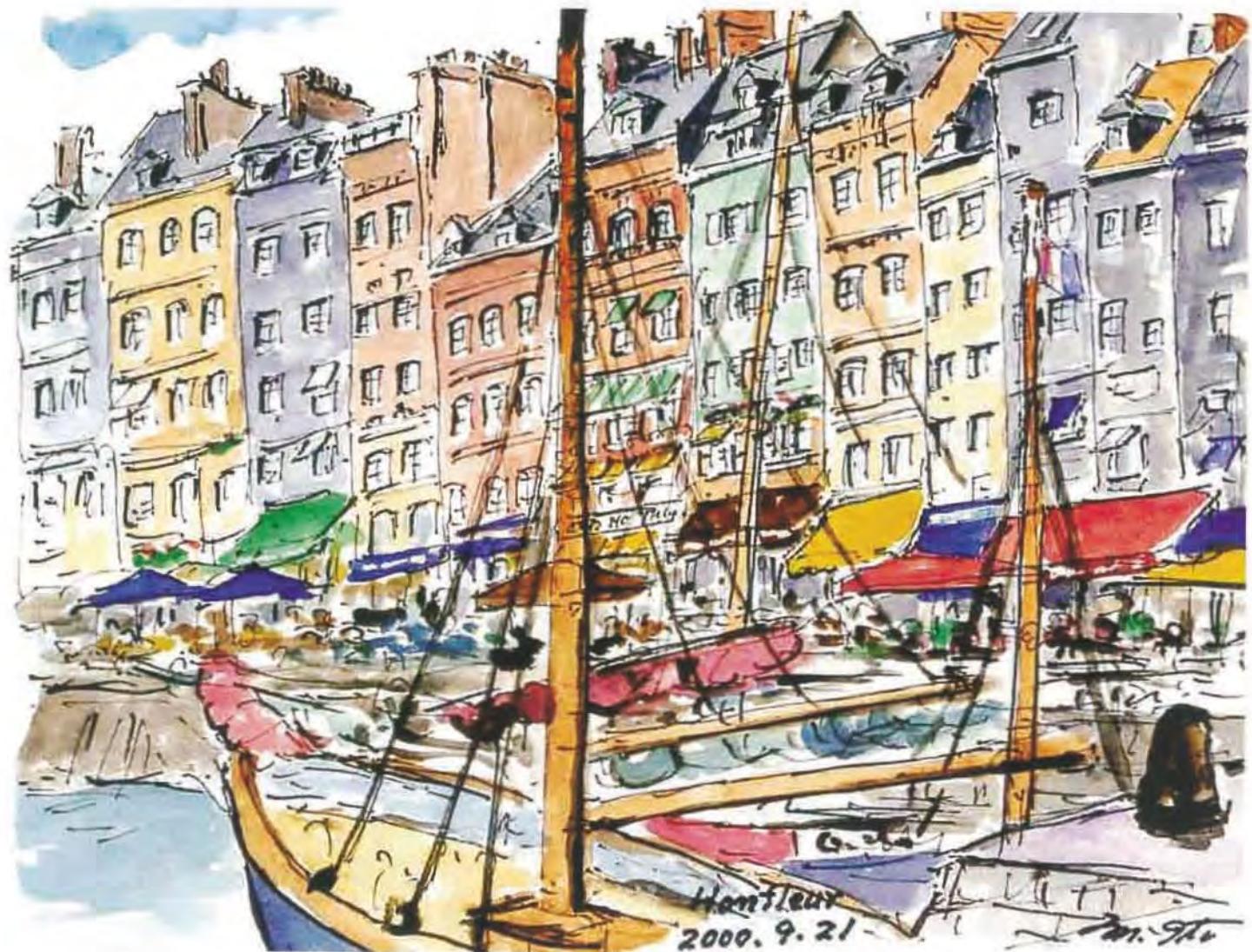
サインペン、水彩、F.3



2000.9

サンマロ

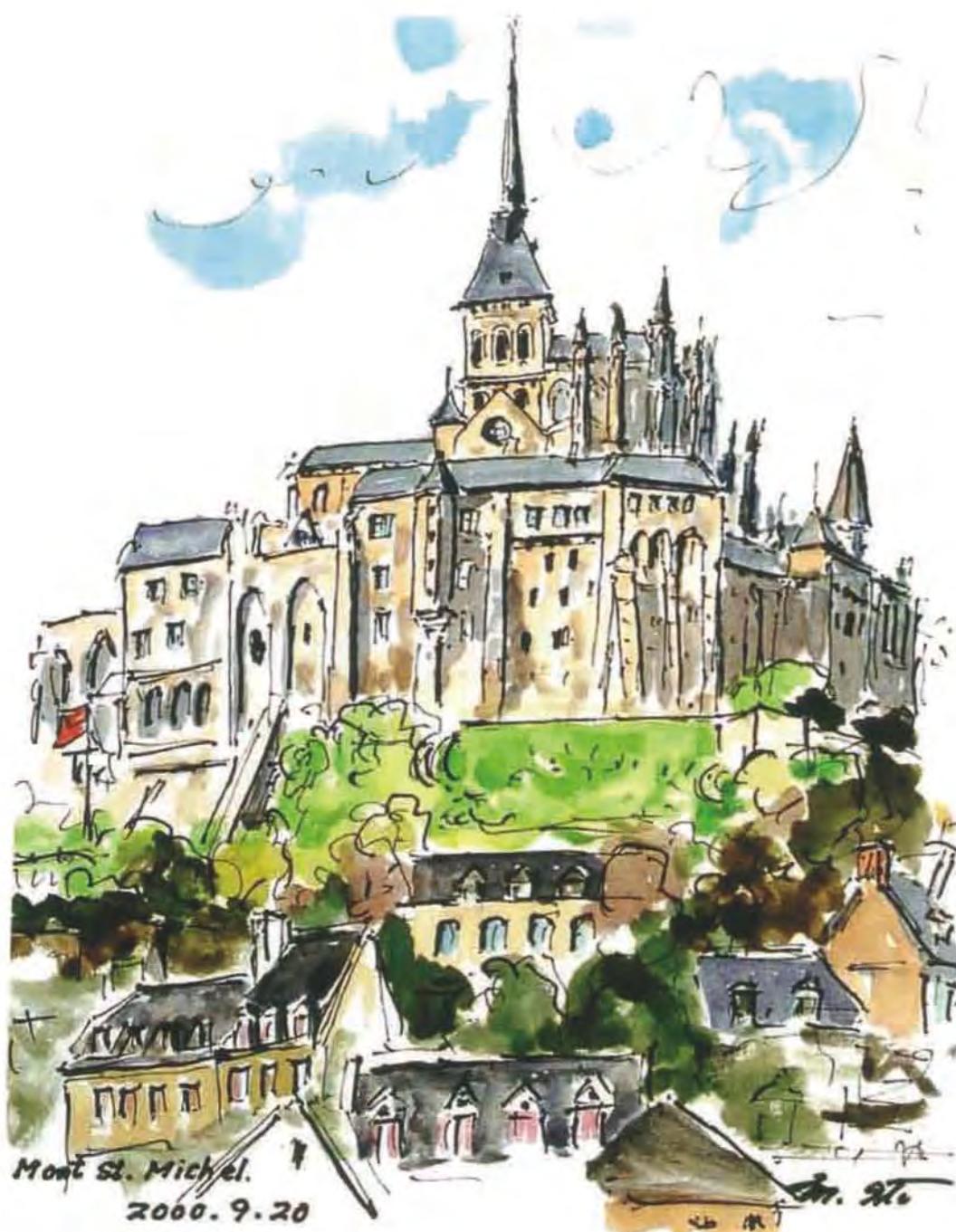
サインペン、水彩、F.3



2000.9

オンフルール

サインペン、水彩、F.3



2000.9

モン サン ミッシェル

サインペン、水彩、F.3



2000.9

ルーアン

サインペン、水彩、F.3



2000.9

パリー オペラ通り

サインペン、水彩、F.3



2002.1

ブタベスト 王宮の丘より

サインペン、水彩、F.3



2002.1

ブダペスト マーチャシュ教会

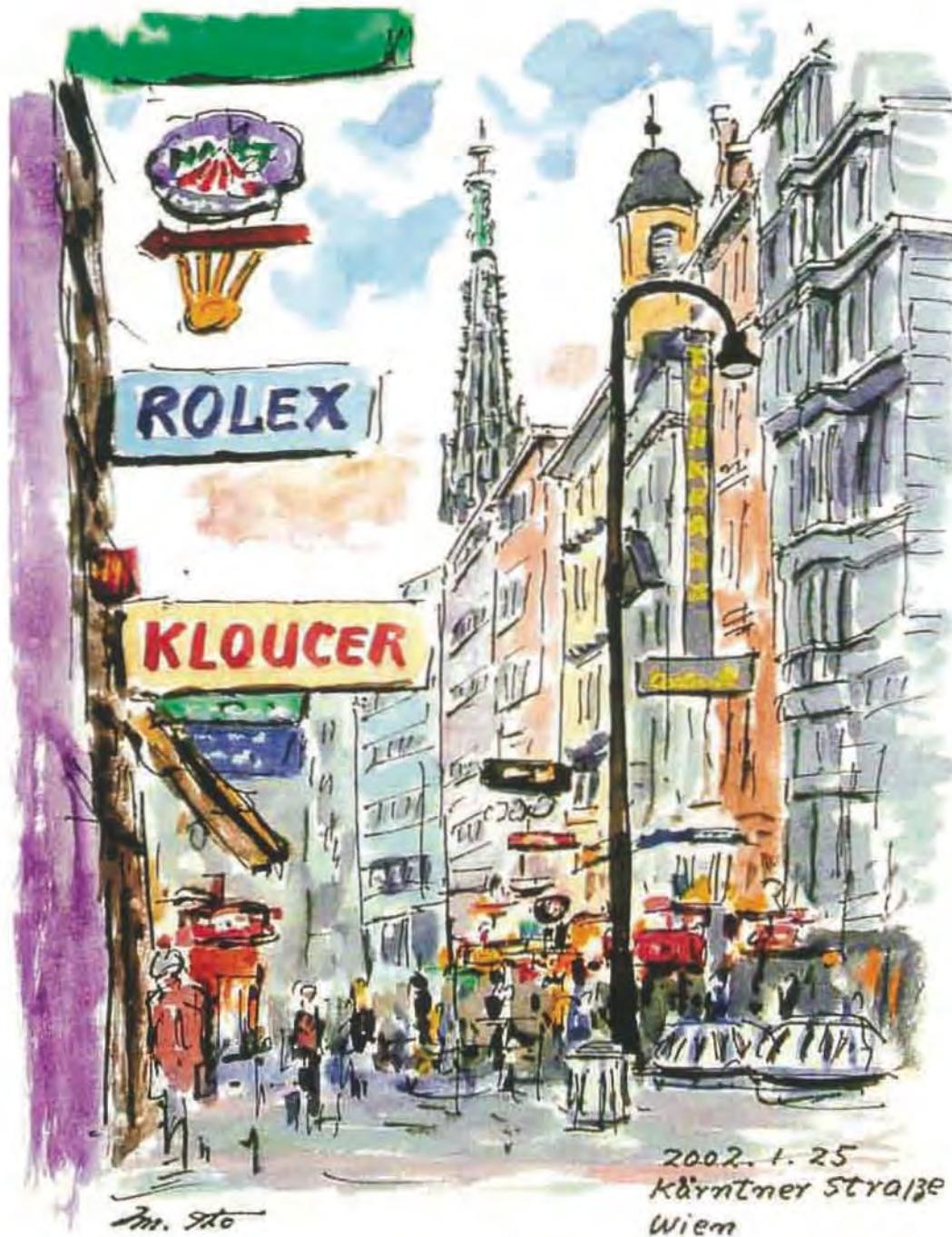
サインペン、水彩、F.3



2002.1

ブダペスト くさり橋

サインペン、水彩、F.3



2002.1

ウィーン ケルントナー通り

サインペン、水彩、F.3



2002.1.25  
Mariahilfer Straße  
wien

2002.1

ウィーン マリアヒルファー通り

サインペン、水彩、F.3



M. H.

2002.5.17  
Victoria, Canada

2002.5

ヴィクトリア

サインペン、水彩、F.3



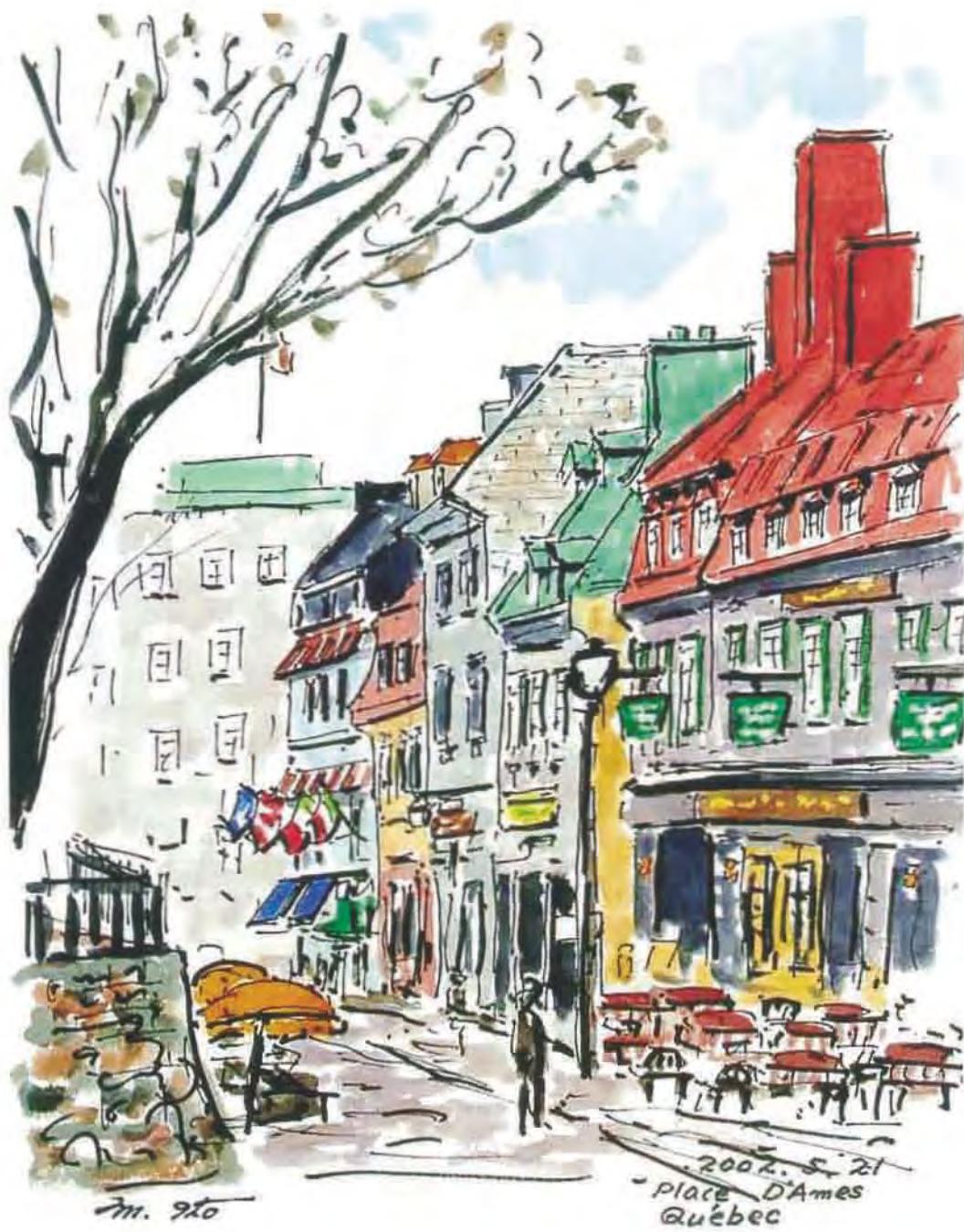
Am. 980

2002. 5. 17  
Canadian Rockies  
入口  
Calgary 側

2002.5

カナディアンロッキー カルガリー側入り口

サインペン、水彩、F.3



2002.5

ケベック ダルム広場前のレストラン

サインペン、水彩、F.3



2002.5.21 Petit-Champlain, Québec

2002.5

ケベック フチシャンプラン

サインペン、水彩、F.3



2002.5

ナイアガラ カナダ滝

サインペン、水彩、F.3



2002.9

エジンバラ城

サインペン、水彩、F.3



2002.9

グレンコー

サインペン、水彩、F.3



2002.9

グラスミア

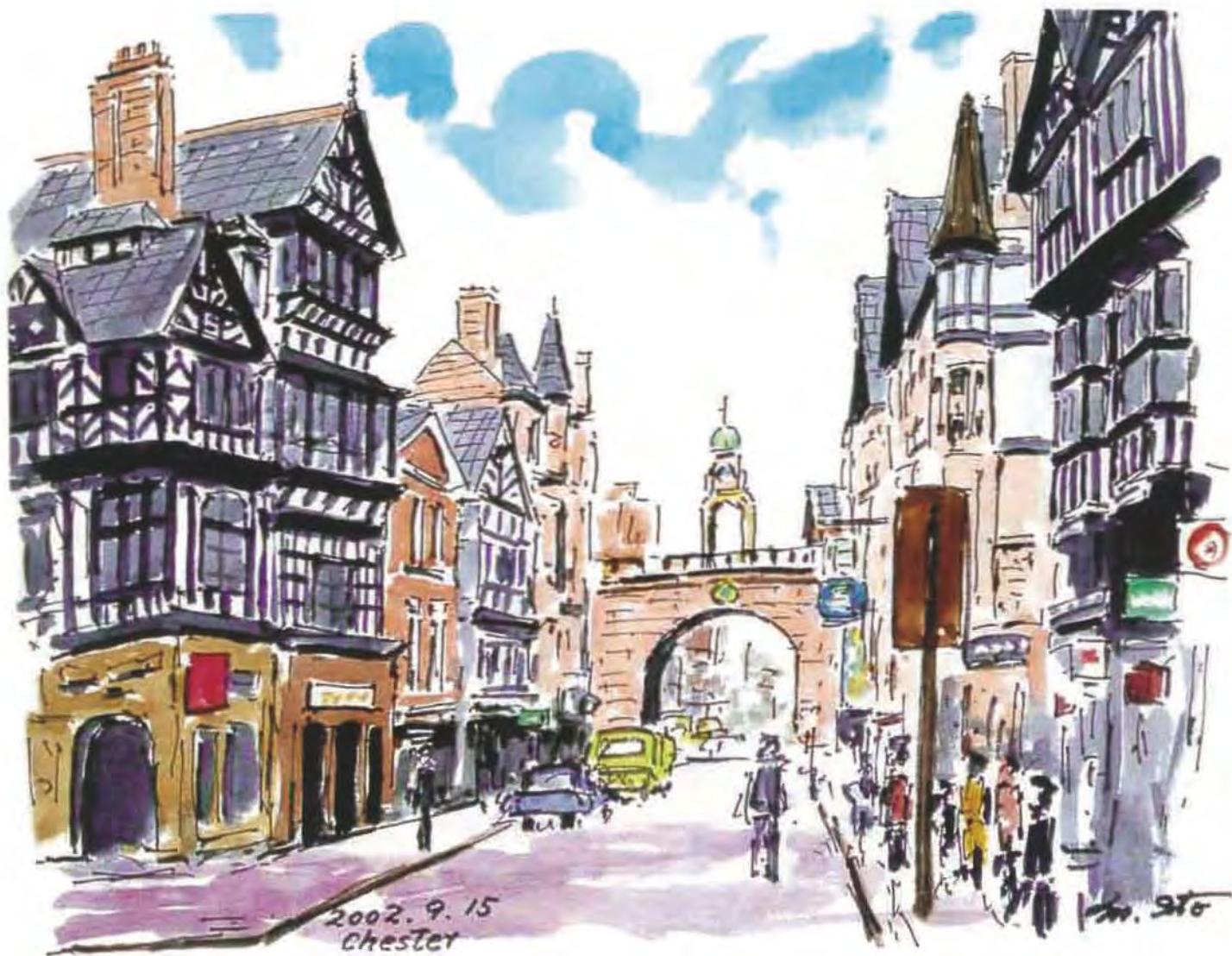
サインペン、水彩、F.3



2002.9

グラスミア ワドワースの家

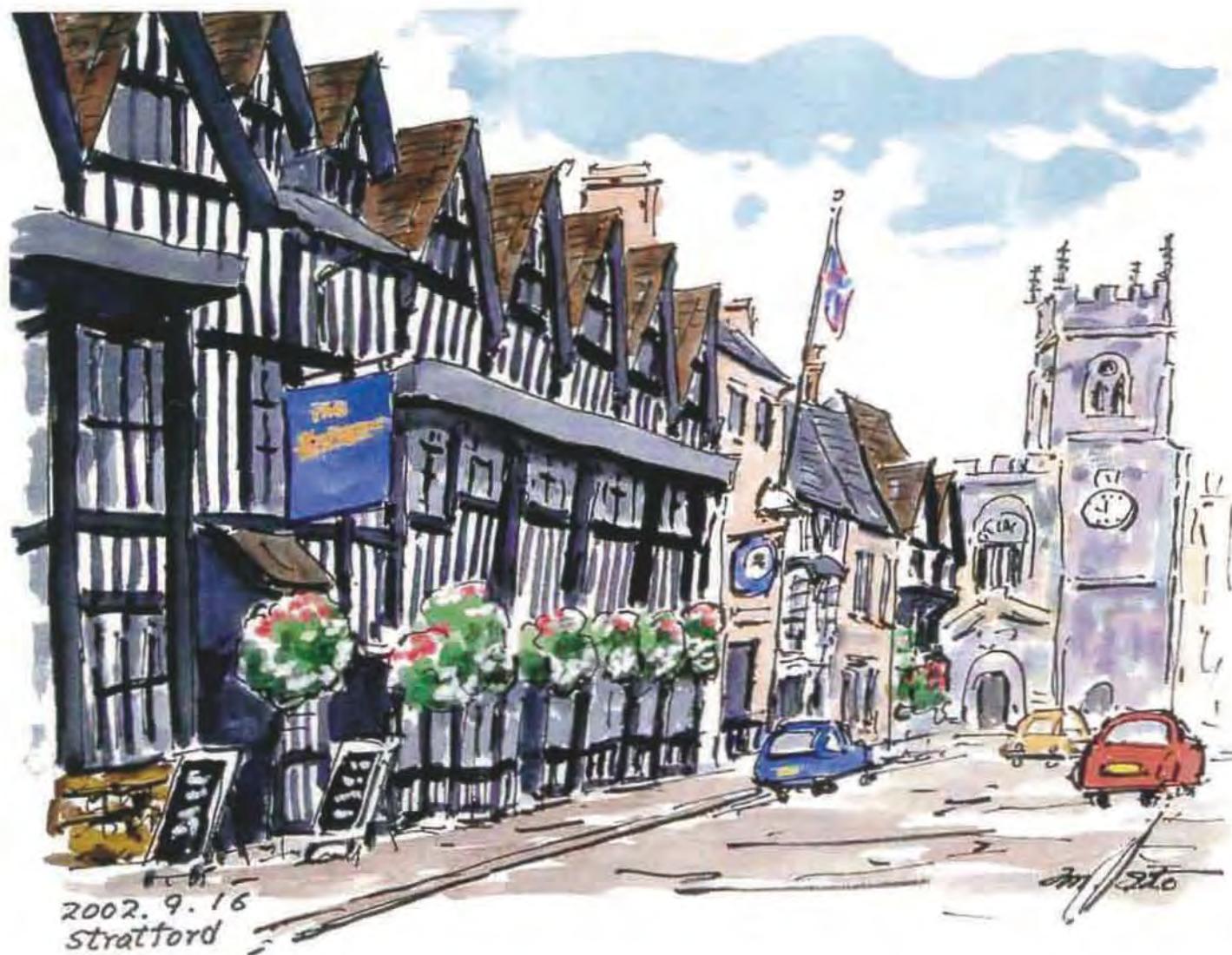
サインペン、水彩、F.3



2002.9

チエスター

サインペン、水彩、F.3

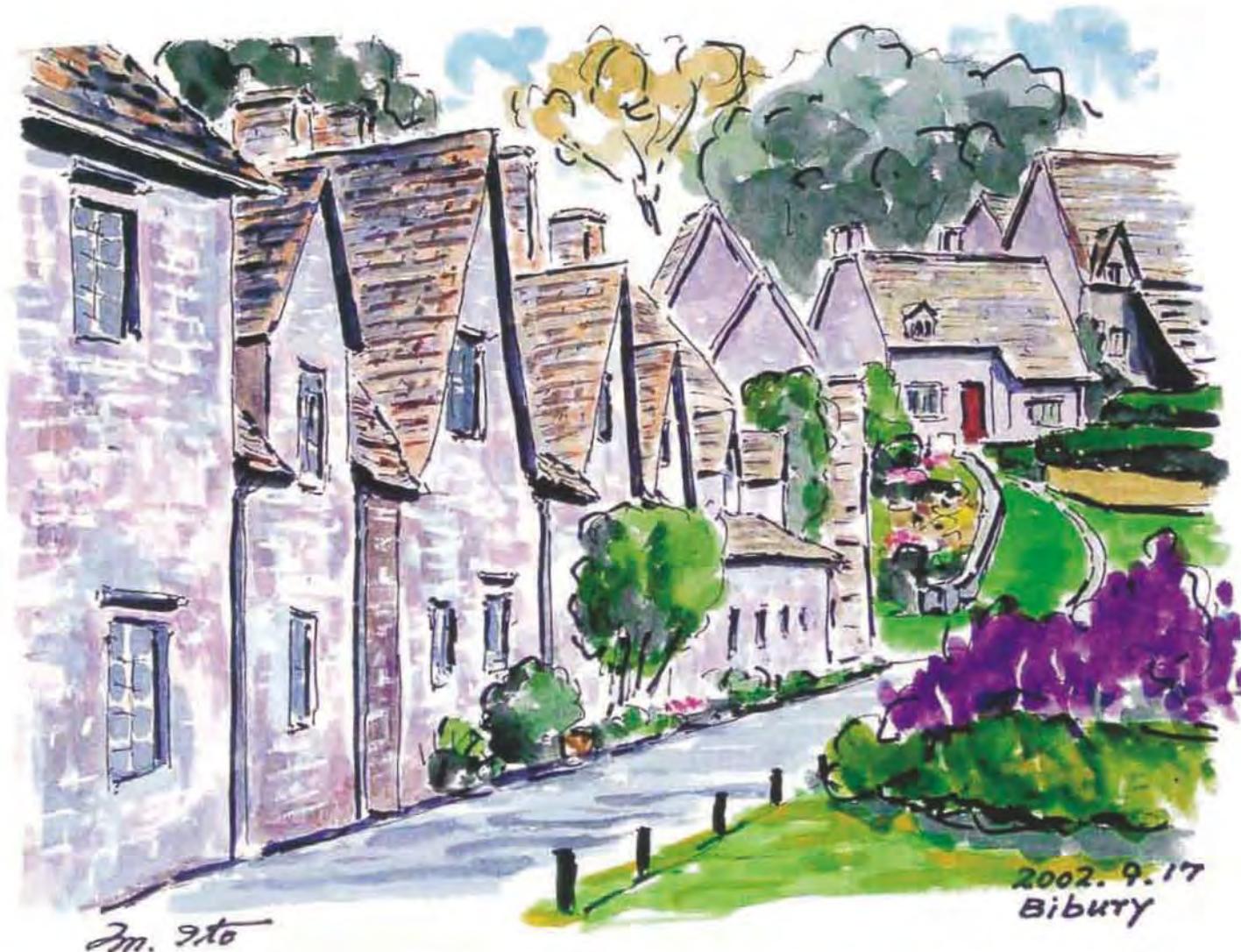


2002. 9. 16  
Stratford

2002.9

ストラドフォード

サインペン、水彩、F.3



M. 9to

2002. 9. 17  
Bibury

2002.9

ビブリー

サインペン、水彩、F.3

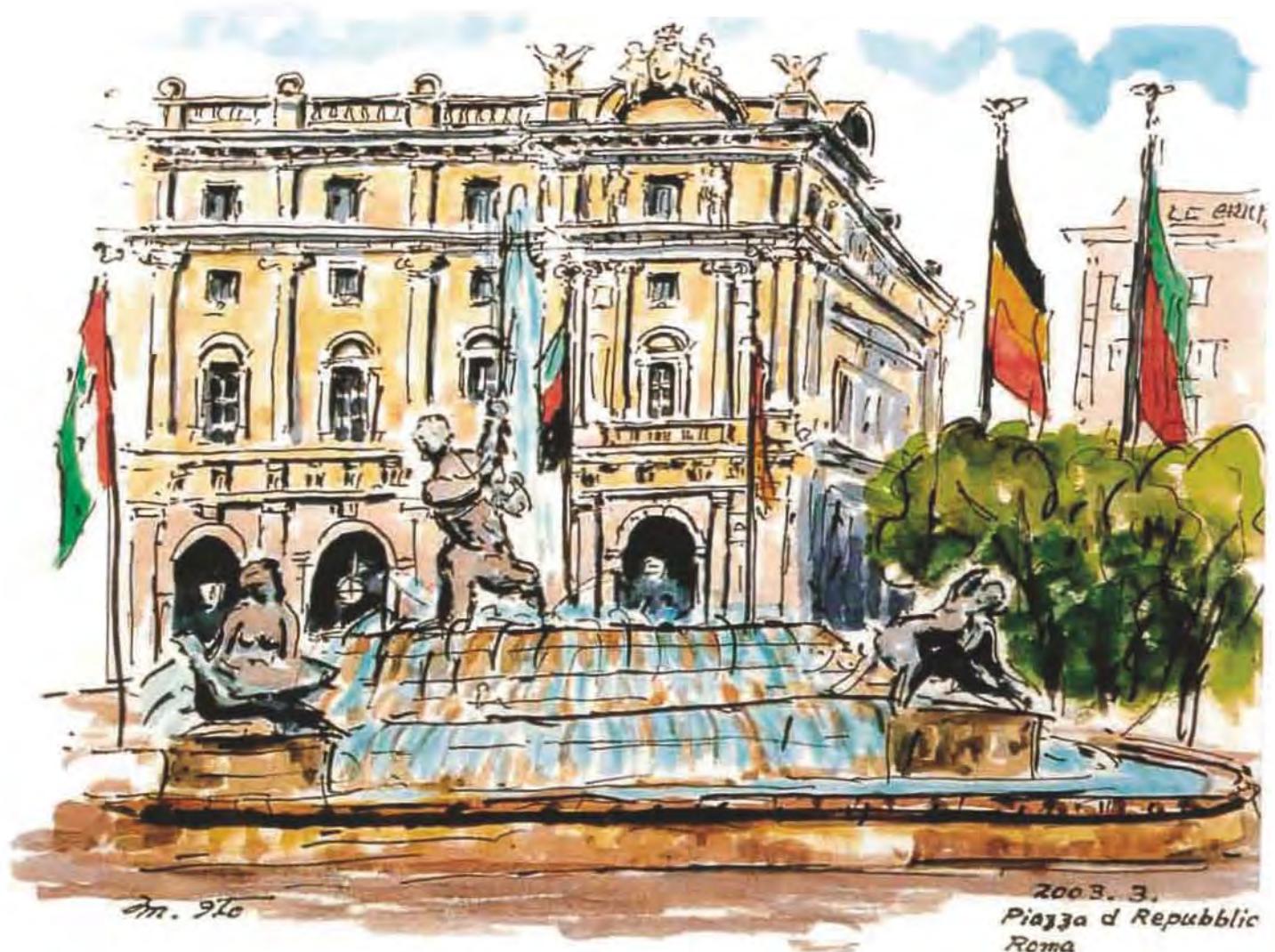


2002. 9. 17  
High Street  
Oxford

2002.9

オックスフォード

サインペン、水彩、F.3



2003.3

ローマ 共和国広場

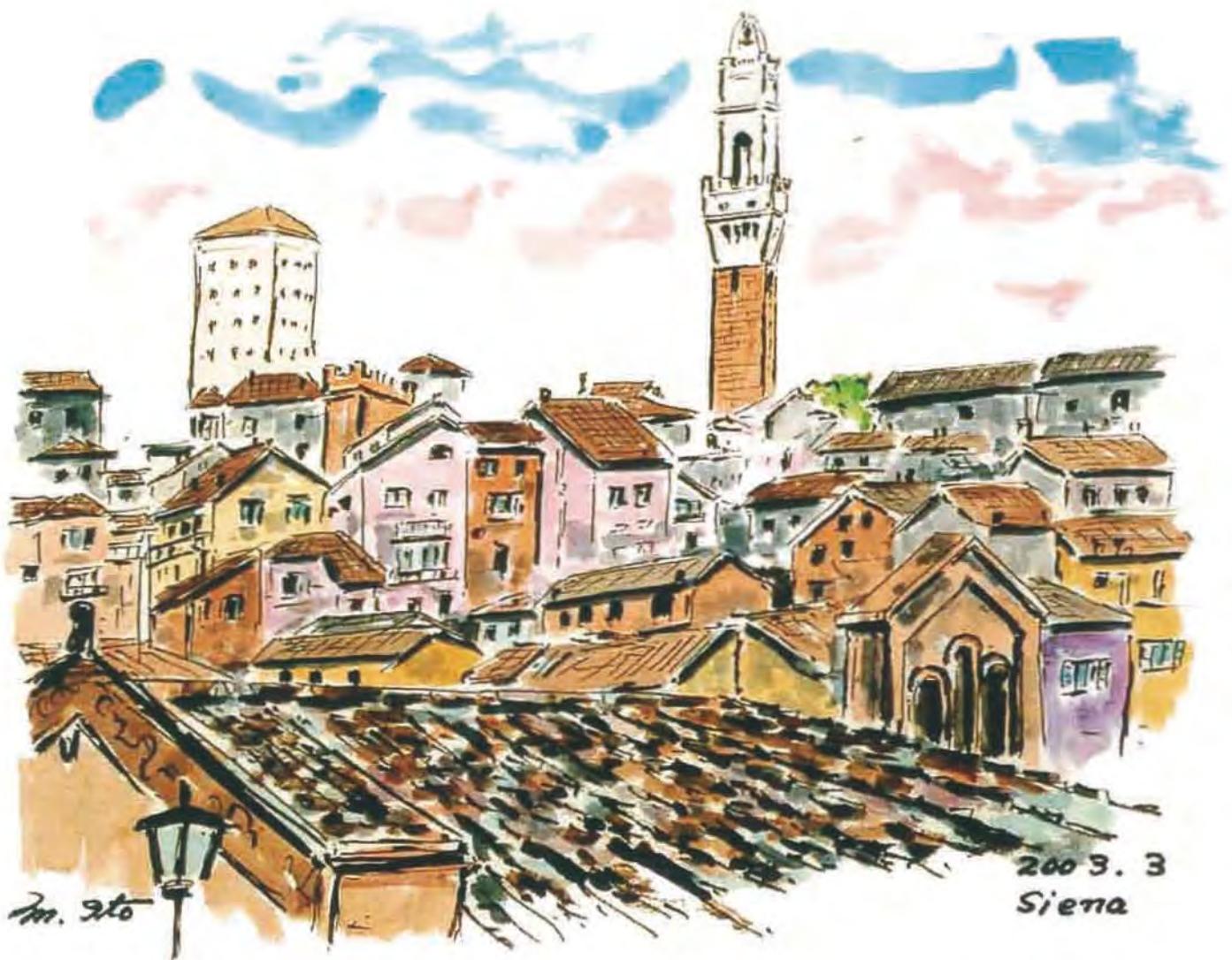
サインペン、水彩、F.3



フィレンツエの夕暮れ

サインペン、水彩、F.3

2003.3



2003.3

シェナー

サインペン、水彩、F3



2003.3

ヴェネツィア サルーテ教会

サインペン、水彩、F.3



2003.3  
ゴンドラ舟溜り  
Venezia

2003.3

ヴェネツィア ゴンドラ舟溜り

サインペン、水彩、F3



2003.3

ヴェネツィア 運河

サインペン、水彩、F.3



2003.3

ベローナ

サインペン、水彩、F.3



2003.3

トスカーナの風景

サインペン、水彩、F.3



2003.5

セゴビア 水道橋

サインペン、水彩、F.3



セゴビアの風景

2003.5

サインペン、水彩、F.3



2003.5

ラ・マンチャ 風車小屋

サインペン、水彩、F.3



2003.5

ラ・マンチャの風景

サインペン、水彩、F.3



2003.5

コルドバ

サインペン、水彩、F.3



2003.5  
Plaza de España  
Sevilla

2003.5

セビーリャ スペイン広場

サインペン、水彩、F.3



2003.5  
Ronda

2003.5

ロンダ

サインペン、水彩、F.3



2003.5

シェラ ネバーダ

サインペン、水彩、F.3

m. 9to

2003. 5  
Sierra Nevada

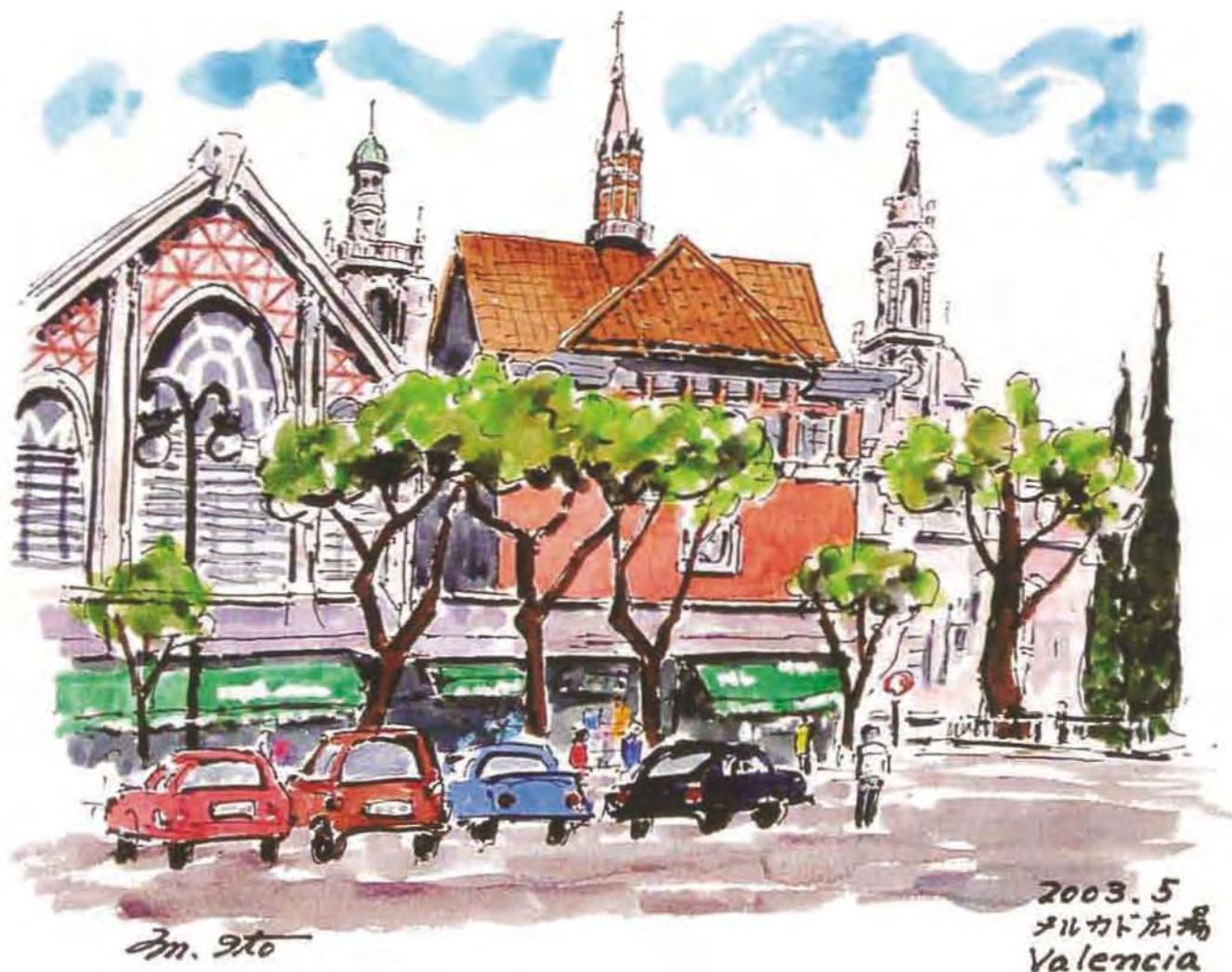


2003.5  
サラゴサ広場, Valencia

2003.5

バレンシア サラゴサ広場

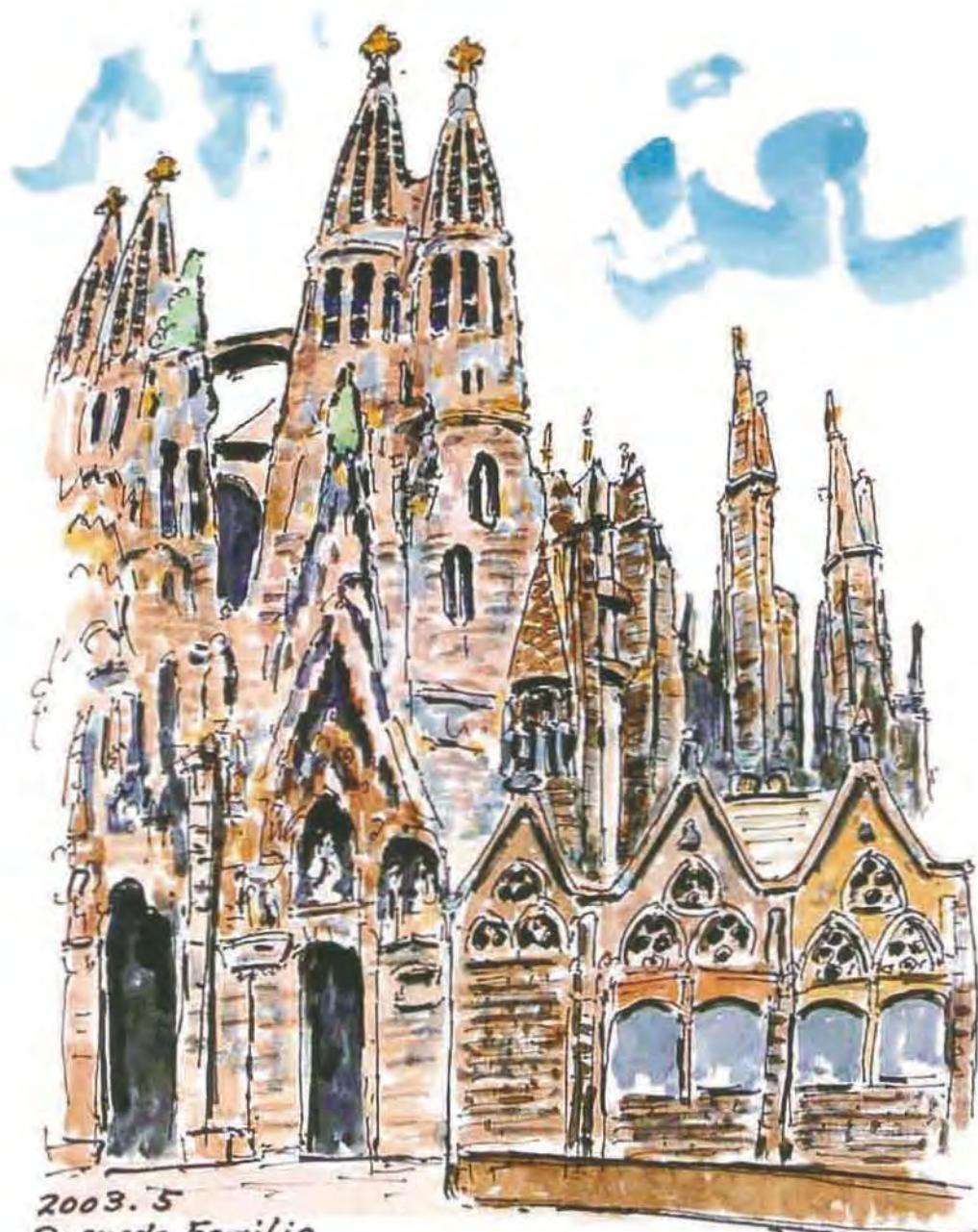
サインペン、水彩、F.3



2003.5

バレンシア メルカド広場

サインペン、水彩、F.3



2003.5  
Sagrada Família  
Barcelona

Jin. 2to

2003.5

バルセロナ ファミリア教会

サインペン、水彩、F.3

## 伊藤光男 略歴

1929年3月24日 北九州市若松区生まれ

学歴 1951年 3月 九州大学理学部化学科卒

職歴 1951年 5月 九州大学理学部助手  
1966年 1月 東京大学物性研究所助教授  
1970年 1月 東北大学理学部教授  
1992年 4月 東北大学名誉教授  
1993年 4月 岡崎国立共同研究機構  
分子科学研究所長  
1999年 4月 岡崎国立共同研究機構長  
2001年 4月 分子科学研究所研究顧問

専門 物理化学

受賞 1988年 4月 日本化学会賞  
1989年 5月 日本分光学会賞  
1997年 4月 紫綬褒章  
2004年 4月 瑞宝重光章

趣味 水彩スケッチ

1992年 3月 画文集“思い出すまま”出版  
1997年 5月 画集“つれづれに”出版  
2000年 11月 アダージオ芦屋（兵庫県芦屋市）にて  
水彩画個展“つれづれに I”  
2001年 3月 葵丘（愛知県岡崎市）にて  
水彩画個展“つれづれに II”  
2001年 4月 画集“つれづれに”再出版  
2002年 10月 ギャラリーくぼた（東京都京橋）にて  
水彩画個展“つれづれに III”  
2003年 10月 ギャラリーくぼた（東京都京橋）にて  
水彩画個展“つれづれに IV”  
2004年 5月 画集“つれづれに その2”出版

著作・発行者

伊 藤 光 男

発行日・2004年5月

〒112-0012 東京都文京区大塚3-3-14-402  
TEL・FAX 03-3941-8150

制作・印刷

(株)エニウェイ出版事業部

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-19-3 万葉ビル2F